

第七回 顎関節のテスト

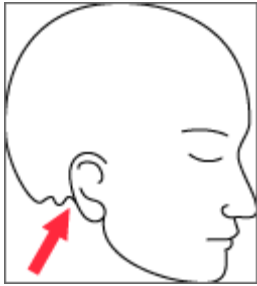


図 A

耳たぶの裏のあたりに左右の指を入れてください。

(1)ズボンの後ろポケットに分厚い財布または型崩れしないものを片方だけ入れます。そしてイスに腰掛けてゆっくりゆっくりと上下の歯を噛み合わせます。そしてまた反対側のズボンの後ろポケットに入れて同じことを行いますと上下の歯を噛み合わせる距離が違うかどうか。

(2)図 A のところに左右の指を同時に入れてみますと左右の隙間が違っているはずです。

横向きで寝転んで足を真っ直ぐに伸ばし、図 A の矢印の所（耳たぶの裏の頭蓋骨）に左右の矢印の所に同時に左右の指 1 指を入れた状態で下側の肩を前後に動かすと左右の指を入れた隙間が変わるはずですが。また左右の足の長さ、左右の歯の噛み合わせが変わります。ゆえに顎関節症は顎の関節だけの問題ではなく、体全体の問題です。足の長さを揃えただけとか歯の噛み合わせだけでは全く治らないのです。体全体を治さないと治せないのです。

つまり頸椎ヘルニア、むちうち、肩こり、四十肩、五十肩、背中の痛み、腰椎ヘルニア、座骨神経痛、胸やけ、裂孔ヘルニア、肋軟骨・ひざ・おしりが痛い・・・など全てを治して、そして頭蓋骨の調整をして最後に歯の噛み合わせの調整をいたします。故に顎関節症を治せばあらゆる病気が治ると言われるぐらいです。